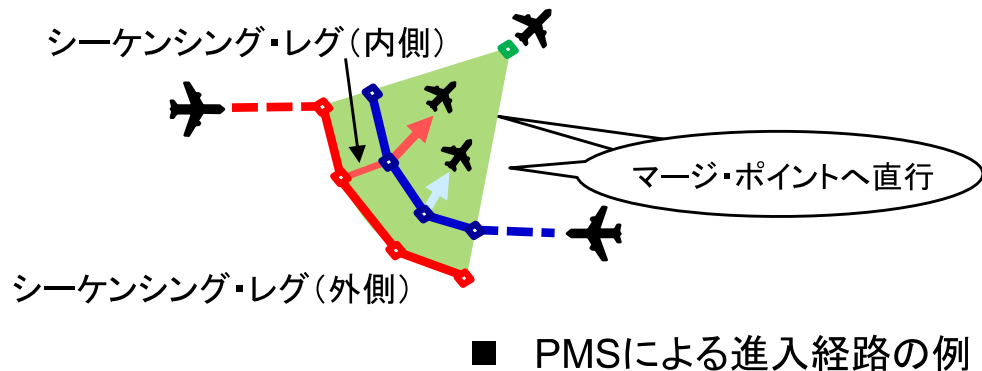


貢献内容：便益予測および運航イメージの動画による把握の還元 (2020年度～予定)

研究機関名：電子航法研究所 (ENRI)

【実現施策の概要】

○到着機の処理方式としてレーダ誘導を代替するPMS(ポイントマージ)を羽田空港に導入予定[2020年度～航空局にて実運用開始を予定]



【研究の実施概要】 2011～2014年度

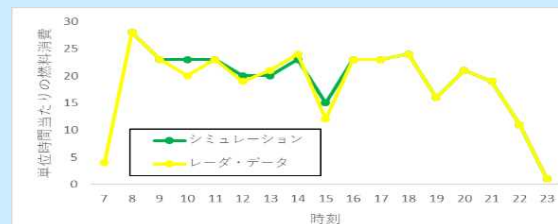
- ・設定課題・目標 PMSシミュレーションモデルの作成
- ・研究テーマ名 【ATMパフォーマンス評価手法の研究(ENRI: 蔭山 康太)】
- ・研究実施体制 下記参照



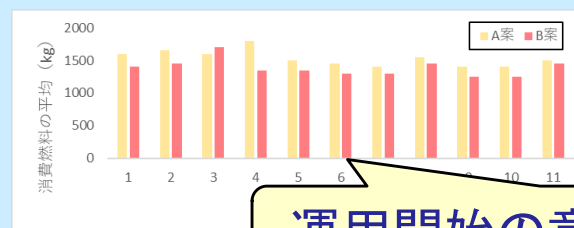
【成果還元の内容】

シミュレーションによる事前予測

- ◆シミュレーション・モデルを作成し、現実の再現性を検証
- ◆検証したモデルにより燃料消費や着陸機数を予測
- ◆動画による交通流のイメージの把握



再現性の検証例



燃料消費の予測 (代替案の比較)

運用開始の意思決定に寄与

(運用による便益)

マージ・ポイントまでの連続降下による燃料消費の削減など

【WEB参照先】電子航法研究所 年報

https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】

(施策に関する問合せ) CARATS事務局
 国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
 (研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
 電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432